



R/R Factory! ZRX1200 DAEG

足が軽いと気分も軽くなる!?

Photo & Text : 中村友彦



今さら言うのも何だけれど、足が軽いつて素晴らしいことなのだ。アクティブが販売するアルミ鍛造ホイールのゲイルスピード・タイプSをDAEGに装着して、僕はしみじみそう思った。

いい製品の恩恵は 日常域でも感じられる

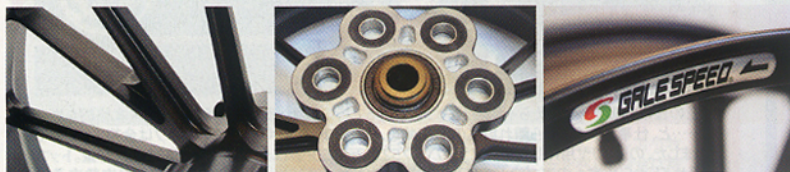
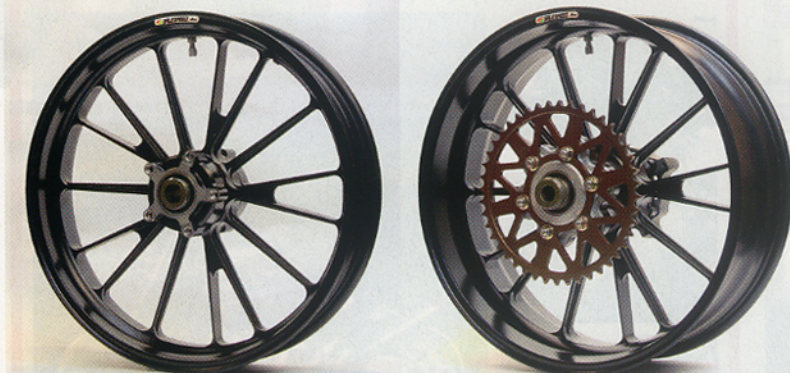
こんなに変わるものだけ? ... というのがDAEGにゲイルスピードを装着しての率直な感想だった。ホイールの軽量化が運動性の向上に貢献することは知っていたし、僕自身も過去に軽量ホイールを装着したカスタム車に好感を持ったことは何度もあるけれど、ここまでの変化が味わえるとは予想外の展開だ。しかしまあ改めて考えてみると、ノーマルを熟知した状態でホイールを交換したのは、僕にとっては人生初である。交換後の走りに驚いたのは当然なのかもしれない。

……と、抽象的な話が先行してしまっただけ、今回のテーマはアクティブが販売するアルミ鍛造ホイール・ゲイルスピード・タイプSだ。この製品のどこに魅力を感じるかは人それぞれで、独特の15本スポークや鍛造ならではのシャープなエンジン部といったデザイン面に魅かれる人もいるだろうけれど、僕的に最もありがたいと思ったのは、軽さである。

具体的な数字は、ノーマルホイールのF・5・55kg/R・9・7kgに対して、ゲイルスピードはF・3・7kg/R・6・7kgだから(カラー類やスプロケット、スプロケットキャリアなどを含んでの美測値)、軽量化は前後合わせて

4・55kg(フロントはメインスチール85kg、リヤはメインスチール2・7kg。この数値を知ると、今どきのバイクにしてはDAEGは重いなあ。とか、ゲイルスピードの重量は少し前のマグネシウム鍛造とほとんど同じかなんていう感想も出てきそうだが、いずれにしても、いわゆるバナナ重量が4・55kg軽くなったことで、DAEGは今までより格段に軽快かつ俊敏なバイクになったのである。

その恩恵が最も強く感じられるのはサーキットや峠道をがんばって走ったときで、中でも直進から旋回に移行する際の軽やかさに僕は大きい感心したのでけれど、逆にあんまりがんばっていない状態、まったりツーリングや市街地走行をしているときに、障害物の回避が機敏にできる



昨年秋から発売が始まったゲイルスピード・タイプSは、独自の切削加工技術によって既存のタイプSやR以上の軽量・高剛性化を実現した。アクティブにとっては最新のアルミ鍛造ホイール。対応機種は'90年代以降のビッグバイクがメインだが、前後12イン치의ミニバイク用も存在。DAEG用は3.50-17のフロントが9万7650円で、5.50-17と6.00-17の2種が存在するリヤが13万1250円。カラーはパールホワイト、ブラック、ゴールドの3種。なお写真のAFAM製スプロケットは別売りで(1万500円)、DAEGの標準となる525サイズの場合は36~45Tまで、計10種類が準備されている

交換作業はいつものレーシングマックス府中店



今回のホイール交換+タイヤ入れ替え作業をお願いしたのは、当連載でいつもお世話になっているレーシングマックス府中店。世の中にはアフターマーケット製ホイールに当たるのを嫌がるタイヤ屋さんもいるけれど……。「その点については、ウチは全然大丈夫ですよ。アフターマーケット製ホイールで問題になるのは素材や製法ではなくリム形状で、これが特殊な場合は交換時にちょっとしたコツが必要になるケースがあるんです。でもそのあたりを事前に把握していれば、対処の仕方はいくらでもありますからね」と、同店代表の久下さんは言う